



できたての焼き芋をさっそく頬張る児童

ホックホクの焼き芋おいしいね

■全校焼き芋大会

勝間田小学校で11月20日、全校焼き芋大会が開かれました。

この焼き芋大会は、昨年から実施され今年で2回目。使用するサツマイモは、学校の畑で子どもたちが収穫したもので、焼く作業はPTA本部役員が協力して行いました。

授業を終えた児童たちは、事前に配布された引換券とできたての焼き芋を交換し、その場でさっそく食べたり、自宅に持ち帰るなどして、おいしい焼き芋を楽しみました。

地域住民や子孫が勝間田氏をしのぶ

■県指定史跡「勝間田城趾」544年祭

室町後期に滅亡した勝間田氏を鎮魂する県指定史跡「勝間田城趾」544年祭が11月15日に開催されました。

神事には、杉本基久雄市長や勝間田区の関係者のほか、勝間田氏の関係者が多く暮らしている御殿場市印野区から、勝間田芳秀区長はじめ、子孫の皆さんが参列しました。

神事の後、市文化財調査官の松下善和さんが勝間田城の現状と魅力、そして今後行われる整備の内容などについて説明しました。



勝間田城趾の魅力や今後について説明する松下さん

坂部の歴史に触れ、ふるさとを知る

■仲よしウォーキング

坂部小学校で11月21日、PTA主催の「仲よしウォーキング」が開催され、参加を希望した児童や保護者など約80人が参加しました。

この催しは、毎年行っていた通学合宿「仲よし学校」がコロナ禍で中止となったことから、代替で行われたものです。参加した児童らは、縦割りのグループに分かれ、本間用水から石雲院までの約6キロメートルを散策。道中では、伊故海正道さんの解説で坂部の歴史などを学んだほか、PTAによるレクリエーションなどを楽しみました。



スモークマシンを使った煙体験で訓練をする職員と園児

本格的な訓練で大切な命を守る

■消防署による避難訓練

地頭方保育園で11月18日、避難訓練が行われ、全園児と職員96人が参加しました。

この訓練では、牧之原消防隊や出張所の救急隊員が直接訓練を指導。避難訓練を行った後、園児らは園庭で実際にスモークマシンを使った煙体験も行いました。

通報や消火器の使い方を体験した職員は「普段の訓練とは違い、本格的な体験ができ勉強になった。子どもたちの命を守るためにこれからも訓練をしっかりと行いたい」と話しました。



伊故海さんから御馬ヶ谷地蔵堂の解説を聞く参加者

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0540-0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



自慢の創作一品料理をどうぞ

■アースランチフェスティバル

11月27日に、ミルキーウェイスクエア（波津区）で「アースランチフェスティバル」が開催されました。

「アースランチプロジェクト」に参加した勝間田・牧之原・萩間・坂部の4小学校が、学校菜園や校区で採れる食材を使った創作一品料理を考え、完成させました。当日は、学校で作った料理を、各校の代表児童3人が会場に持参。9人の審査員が、試食と発表内容などを踏まえて審査しました。

審査の結果、「アースランチ大賞」は勝間田小学校の「ふるさとシチュー ON さつまいもライス」に決定。この料理は今後、学校給食の献立として検討される予定です。



審査員らに向けて自慢の料理について発表する児童

「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせ

■お菓子を通して福祉の大切さを学ぶ活動

萩間小学校で11月12日、市内の介護施設「憩の家みち」家長の石津道弘さんによる「福祉のお話」の授業が行われ、4年生22人が参加しました。

石津さんは、私たちが普段何気なく行う動きなどを、自分でできない人もいることを説明。「当たり前の生活を過ごせることはとても幸せなこと。周りの人や環境全てに感謝しよう」と話しました。

参加した児童は「これからは、『ありがとう』や『大丈夫ですか』という言葉をもっと言いたい」と話しました。



自前の衣装を身にまとって話をする石津さん



地元で獲れた新鮮野菜を買い求める来場者

地産地消で地域を活性化

■~地産地消~オンラインまきのはら物産市

~地産地消~オンラインまきのはら物産市が11月8日に相良庁舎駐車場、15日に榛原庁舎駐車場で開催されました。

例年の産業フェアより規模を縮小して行われた会場には、地元で獲れた新鮮野菜や特産品のお茶や自然薯、飲食店などのブースが並び、多くの来場者は、地場産品を買い求めました。

また、相良会場では「わくわくワーク」も開催され、大工や和菓子、工作など、さまざまな職業体験が行われ、子どもたちでぎわいました。